

| | | | | | |
|---|------------------------------------|--------------------|--|---|---|
| Course number | G-LAS14 80002 LJ44 | | | | |
| Course title (and course title in English) | ビジネスエシックス Business Ethics | | Instructor's name, job title, and department of affiliation | Graduate School of Management Practicing Professor, Professional Graduate School, KODA HIROTO Graduate School of Management Visiting Professor, TOKUGA YOSHIHIRO | |
| Group | Interdisciplinary Graduate Courses | | Field(Classification) | Career Development | |
| Language of instruction | Japanese | | Old group | | Number of credits 2 |
| Number of weekly time blocks | 1 | Class style | Lecture (Face-to-face course) | | Year/semesters 2025・First semester |
| Days and periods | Fri.5 | | Target year | Graduate students | Eligible students For all majors |

(Students of Graduate School of Management, Graduate School of Economics cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

「ビジネスエシックス」は、企業の基本的な行動規範のあり方について、様々な規律付けを企業価値成長の枠組みとして考察する講義である。企業活動の倫理性、あるいは企業の社会的責任は、その対象と意味を大きく拡張しながら、少しずつ社会全般に理解され根付きつつある。企業は利潤獲得のみによって責任を免れるのではなく、ステークホルダーと市民社会に弊害をもたらさず、地球環境にも負荷を与えないことが責務とされ、企業に対する広範で実効性のある行動規範が要求されるようになった。

「ビジネスエシックス」という講義タイトルであるが、倫理性（倫理学）の視点から多くを論ずるのではなく（合理的経済人としてのヒトのみでなく、倫理性を持つヒトも扱うが）、主に経済的合理性の視点からどうすれば企業不正を減らす、さらには様々な規律付けを企業価値成長に結びつけていくことができるかといった問題を扱っている。

講義は主に 企業の利潤追求と倫理、#10113コーポレートガバナンスと内部統制、及び 企業不正と規制の3つの主題から構成されている。では、企業の利潤追求と外部性の問題を扱う。#10113では、日本における内部統制制度とコーポレートガバナンスの現状と課題について検討する。では、企業不正の原因と解決・緩和に向けた方策について検討する。

なお、この授業はみずほ証券寄付講座提供授業として運営を行い、経営管理大学院の倫理科目として、強く履修を推奨するものである。

[Course objectives]

企業活動と社会経済厚生との相互関係について、バランスのとれた理解が可能な体系的で具体的な知識を具体的に理解し習得する。

[Course schedule and contents]

【授業計画と内容】毎週金曜日の5限
2024年度実績

- 第1回 オリエンテーション「ビジネスエシックスの学び方」（幸田先生、徳賀先生）
- 第2回 「ビジネスエシックスという視点より経営哲学の意義を考える：日本航空の破綻と再生を事例として」（明治大学：高巖先生）
- 第3回 「企業倫理と哲学」（慶應義塾大学：梅津光弘先生）

Continue to ビジネスエシックス(2)

ビジネスエシックス(2)

- 第4回 「ビジネスエシックスと経済学」(徳賀先生)
第5回 「ビジネスエシックスと企業価値」(幸田先生)
第6回 「日本における内部統制制度」(監査法人トーマツ:津村直也氏)
第7回 「コーポレートガバナンスと企業価値」(上田先生:京都大学経営管理教育部客員教授)
第8回 「証券市場とビジネスエシックス」(みずほ証券:白川至氏)
第9回 「コーポレートガバナンスとビジネスエシックス」(野村総合研究所:嶋本正氏)
第10回 「企業戦略とビジネス法務」(弁護士、慶応義塾大学教授(SFC):菅原貴与志先)
第11回 「日本の会計規制制度と不適切会計・不正会計の深層」(徳賀先生)
第12回 「企業不正の事例とその原因及び企業のリスク管理体制(サイバー攻撃を含む)」(中央大学:藤沼亜紀氏)
第13回 「金融庁のコーポレートガバナンス政策(コーポレートガバナンスと内部統制)」(金融庁:廣島直樹)
第14回 「ビジネスエシックスの今後の方向」(幸田先生、徳賀先生)
第15回 (メールベース)フィードバック(幸田先生、徳賀先生)

2025年度については、決定次第追って連絡する。

[Course requirements]

特に具体的な履修要件は課さないが、現実の企業と社会との関係についての旺盛な関心を求める。

[Evaluation methods and policy]

- ・ 講義内容についてのレポート(講義ごとにPandA「テスト・クイズ」)を講義日翌週の金曜正午までに提出(35%)
- ・ 最終試験の成績(65%)

[Textbooks]

Not used

特に特定の教科書は用いない。教材と必要な資料は授業において配布する。

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

講義が行われるトピック(会社、事業体等)の概要について予習し、さらに授業終了後に配布された資料の内容を復習しておくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

各授業の終了後にオフィス・アワーを設ける。その他の時間帯については、事前にメールにて問い合わせること。

その際の問合せはみずほ証券寄附講座:山本(yamamoto.chiharu.3m@kyoto-u.ac.jp)までお願いいたします。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

[Essential courses]